

ルート225 (2005)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ファンタジー

製作国 日本

色彩 Color

時間 101分

初公開日 2006/03/11

公開情報 オフィス・シロウズ

【キャッチコピー】

お姉ちゃん、ボクたち、もう元の世界に帰れないかもしれない。

なんだかオカシナ世界…。だけど、2人ならダイジョーブ!?

【解説】

学校の帰り道になぜか元の世界とは少し違っているパラレルワールドに迷い込んでしまった14歳の少女とその弟が元の世界へ戻ろうと悪戦苦闘する姿をリアルなタッチで綴った思春期ファンタジー。タイトルの「ルート225」は、道 (route) の意味と、平方根 (root) $\sqrt{255}=15$ のダブルミーニングとなっている。芥川賞作家・藤野千夜の同名小説を映画化。主演は「HINOKIO ヒノキオ」の多部未華子。

ある日、14歳のエリ子は1つ年下の弟ダイゴと一緒に家に帰る途中、周りの風景が微妙に違っていることに気づく。それでもなんとか家にたどり着いた2人だったが、そこに両親の姿はなかった。やがて、ここが別の世界だと確信するエリ子。両親がいないこと以外はあまり変わらないものの、明らかにパラレルワールドに迷い込んでしまったエリ子とダイゴ。そして、不思議なテレカだけが、元の世界の母と交信できる唯一の手段だった。しかし度数はどんどん減っていく。はたしてエリ子とダイゴは元の世界に戻れるのか？

【クレジット】

監督	中村義洋
製作	佐々木史朗 石川富康 川島晴男
プロデューサー	佐藤美由紀
協力プロデューサー	荒井真理子
原作	藤野千夜
脚本	林民夫
撮影	小松高志
美術	林千奈
衣裳	宮本茉莉
編集	森下博昭
音楽	江藤直子
照明	松岡泰彦
録音	西岡正己
助監督	平林克理

『ルート225』
(理論社／新潮文庫
刊)

出演

多部未華子		田中エリ子
岩田カ		田中ダイゴ
崔洋一		富山のオジサン
梅沢昌代		富山のオバサン
田中要次		エビヅカの父
石田えり		エリ子の母
嶋田久作	Kyusaku Shimada	エリ子の父
石原裕太		マッちょ
小南千明		大久保ちゃん
枚田菜々子		シマちゃん
市川春樹		クマノイさん
小笠原翼		エビヅカ